

修了時アンケート（大学院対象）

対象 : 大学院 博士前期、修士論文提出者
 実施期間 : 2019 年 1 月 4 日（金）～15 日（火）
 実施方法 : 教務係へ論文を提出しに来た者に、アンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。また回収箱は評価・広報室前掲示板にも設置した。
 論文提出者 : 85 名
 回答者数 : 76 名
 回答率 : 90.0% ※2017 年度 97.6%

結果まとめ **質問ごとに(全体) (実数)**

【専門分野・コース】 所属する専門分野・コースは次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA		
哲学 哲学史	現代思想 文化学	臨床哲学	中国哲学	インド学・ 仏教学	日本文学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	人文地理学	日本文学	比較文学	中国文学	国語学	英米文学	ドイツ文学	フランス文学	英語学	日本語学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	共生文明論	アート・メディア論	文学環境論	言語生態論	専門分野名無効	合計
1	2	3	0	2	1	10	1	5	1	2	5	2	0	3	3	0	1	2	6	2	5	4	0	10	3	1	1	76
28											33											14						
文化形態論											文化表現論											文化動態論						

質問 1 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	B	C	D	E
非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない
45	22	7	0	1

質問 2 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	B	C	D	E
強くそう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	どちらとも言えない
30	36	7	0	2

質問 3 あなたが所属する専門分野・コースにおいて開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	B	C	D	E
非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない
48	20	6	0	1

質問4 大阪大学文学研究科の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	29		25		16		4		1

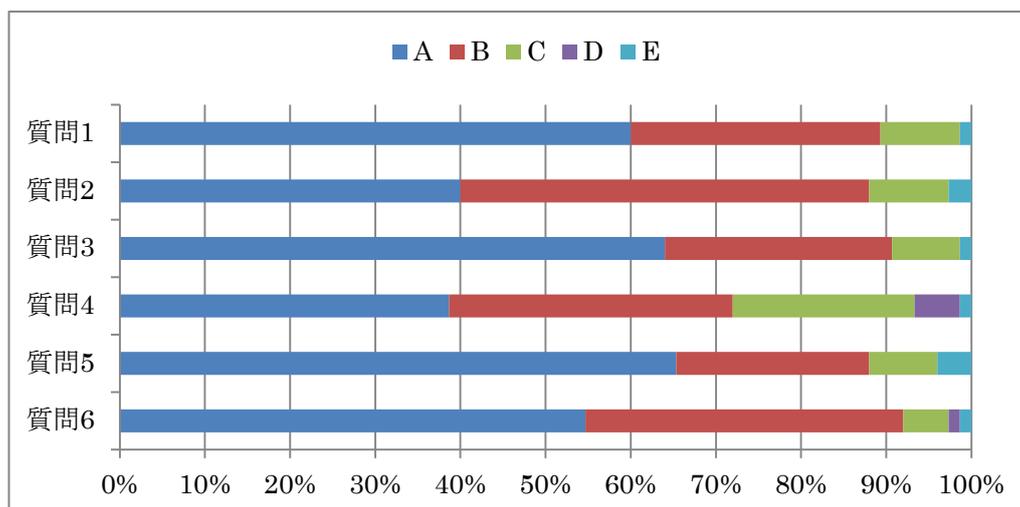
質問5 修士論文の作成や日常の研究について、指導教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
	49		17		6		0		3

質問6 大阪大学文学研究科での勉学は全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	41		28		4		1		1

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学研究科での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いて下さい。

【授業について】

- ・他学科の単位も認めてほしい。
- ・「e-ラーニング」など、よく理解できないまま触れることができなかつたものがあり、もう少し明確にさせていただきたかつたなと思います。

【修論について】

- ・修論を提出する時間がおかしい。
- ・論文提出時期と図書館開館日とがかみ合っておらず非常に不便。

【設備について】

- ・トイレが汚いです。
- ・院生は長く学校で作業することも多いので、お手洗いをより清潔にしてほしい。

・図書をもっと充実させるか、貸借費をもっと安くしてほしい。

・図書館は24時間開けてほしい！

【その他】

・文化動態論は修士のみで、外部からの進学者も多いため、もう少し大学に慣れるためのサポートがあればと思います。

・隠岐と出会えて幸せでした。

・2年間、教育してくださり誠にありがとうございました。

・2年間お世話になりました。

・たくさん勉強できました。

・ありがとうございました。

自由記述欄についてのご回答

他研究科の単位を認めるよう要望がありました。現在でも大学院学則や文学研究科規程により他研究科での単位を修了単位に算入することができます。こうした制度を活用してください。

文化動態論などへの他大学からの入学者に対しては、毎年4月に「他大学から来た大学院新入生・社会人新入生のためのガイダンス」を実施しています。何か具体的な問題を抱えているようでしたら、教育支援室の学習・生活相談デスクに気軽に相談してください。

「eラーニング」については、現在導入の過程にあるので、教員も理解を深めていきたいと考えています。

論文提出期間については、卒業・修了判定や口頭試問、査読時間の確保の点から、後ろ倒しすることは難しい状況にあります。とはいえ、正月休み明けの1月4日を提出日としたり土日をはさんだりした点は改善の余地があると考えており、修正する予定です。附属図書館の開館時間については、試験期間中の24時間開館を実施するなど、図書館としても努力しているところです。ただ、全学的な問題ですので、すぐには実現できません。事前に計画を立てて、準備しておくことをお勧めします。

トイレの改善については継続的に取り組んでいるのですが、依然として強い要望があることは認識しています。今後とも快適な生活環境の創出に向けて努めてまいります。